

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M343A106	スペイン語 II (Spanish II)	融合人材育成科目 国際力強化科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	1	後期	木1	佐藤 孝裕 内線：0977 - 86 - 6641 E-mail：tsato@mc.beppu-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

スペイン語Ⅱでは、スペイン語Ⅰで習得した規則活用変化動詞に加え、数種類ある不規則変化の動詞を学ぶ。スペイン語をマスターするというのは、動詞の活用をマスターすることに等しい。しかし、不規則変化の種類や数は多く重要である。英語に比べて遥かに使用頻度の高い多様な不規則変化動詞の活用を身につけることで、簡単な日常会話にとどまらず、様々なテーマの会話や文章を読み書きできるようにし、更には、国際社会の中で確固たる重要な地位を占めているこの言語を学ぶことで、異文化理解を深める。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. スペイン語の正確な発音ができる。		○				
2. 挨拶や旅行の際のやり取りなど、簡単な日常会話ができる。		○				
3. 平易な文章を読んだり、書いたりできる。	○					
4. スペイン語圏の文化について紹介できる。					○	

【授業の内容】

1	好み、趣味や興味について話す。	9	体調や気分について尋ねたり話したりする。
2	余暇の活動とその頻度について話したり尋ねたりする。	10	体の痛、場所や体調について説明する。
3	店で買い物をする。	11	健康的な生活を送るためにアドバイスする。
4	スペイン語圏の食べ物について話したり尋ねたりする。	12	体の部分の名称、体調、感青を表す言葉
5	レストランで注文をする。	13	過去の旅行中に行ったことについて話す。
6	一日の生活について情報交換する。	14	今年度の出来事について話す。
7	天気について話す。	15	まとめと後期末試験対策
8	スペイン語圏の祭りについて		

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テスト	【その他の工夫】 動画の活用
B：意見の表現・交換	○	ロール・プレイ、ディスカッション	
C：応用志向			
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	テキストに予め目を通し、何を学ぶのか確認する (15h)。
事後学修	その日学習した単語や文章を何度も繰り返し音読して覚え、自然に話せるようにする (15h)。

【教科書】

『¡Muy Bien! curso de español Segunda Edición (いっいね! スペイン語1 第2版)』朝日出版社 (2,860円)、2024年

【参考書】

『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』小学館 (3,080円)、『スペイン語ミニ辞典』白水社 (3,080円)

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
小テスト	20%		○	○	
ディスカッション	10%	○	○		○
学期末試験	70%		○	○	

上記評価方法を総合し、60点以上を単位取得の条件とする。

【注意事項】 私語、内職、スマホ使用等は厳禁する。守れなかった者は、欠席扱いにする。

【備考】

教員の実務経験の有無		
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	面接授業	